

# RACE REPORT

SUPER FORMULA 2021 — P.MU/CERUMO・INGING Race Report

ROUND.

4

スポーツランド菅生

予選

6月19日(土)

天候：雨

コース状況：ウェット

前戦から約一か月のインターバルにおいて、九州から東北へその舞台を移し第4戦公式予選がスポーツランド菅生（宮城県）にて開催された。

スポーツランド菅生は、オフシーズン中に、一部ピットビルの改修や、コースレイアウト変更なども数か所行っている。チームは昨日の搬入日に、2メートルほど広くなったピットロードで、ピット作業、マシンの停車位置を定める作業など、レースシミュレーションを行った。

#38 坪井 翔 予選14位

#39 阪口 晴南 予選3位



迎えた予選日、朝から雨。止むことなく降り続く雨の中、午前9時10分フリー走行が開始された。持ち込みセットを確認しつつ、90分のセッションは赤旗中断があったものの、阪口2番手、坪井3番手と気持ち良いスタートを切ることができた。

## ○公式予選/Q1

14時10分、ノックアウト方式の10分間のQ1がスタートした。雨は降り続き、止めば時折霧の心配も…。雨量は朝のフリー走行よりも多く、タイヤの温め方に苦労することが予想された。

Q1は、A・Bの2組に分けアタック。各組上位7台、合計14台がQ2へ進出する。

## -Aグループ

阪口からスタート。ウォータースクリーンも大きく、雨脚が増すことにより視界不良と前戦同様のコンディション。アタック中は、タイミングモニター上位で推移し好調。セッションの最後、6周目で1分19秒835をマーク。2番手で通過した。

## -Bグループ

坪井が出走。A組よりも雨量が減りタイムアップが期待される。14時30分、あたりがだいぶ明るくなり、雨も若干弱くなる。2周目、3周目、馬の背で若干コースオフした為仕切り直し。4周目でトップタイム。5周目でさらにタイムを削り1分19秒758。3番手でQ2へ進出した。

## ○公式予選/Q2

予選日朝になって急遽Q2のフォーマットが変更されQ2へ進出の14台も2グループに分けアタックすることになった。悪天候でもあり、視界不良をできるだけ避けたい。少しでも少ない台数で満足のいくアタックが行われることに期待。そして、Q1と同じグループのまま、7分間のアタックに挑む。各組7台中4台がQ3へ進出する。



## -Aグループ

阪口からアタック。3周目で2番手。4周目、1分19秒046をマーク。トップでQ2を通過した。

## -Bグループ

雨脚がこれまでで一番強くなったタイミングでセッションがスタートした。雨が得意な坪井は、アタック2周目でトップ。3周目でも1分20秒100でトップに立った。しかしその直後、雨に足元をすくわれ2コーナーでスピンしエンジンストール、赤旗が呈示されてしまう。ほぼ同じタイミングにスピンした51号車と共に、2台が赤旗原因車両の判定がくだってしまう。タイムは抹消、Bグループ6位でQ2敗退となった。

## ○公式予選/Q3

セッションのスタートと共に雨量がさらに増す。阪口は3周目2番手、4周目1分19秒445で3番手。前戦に続き予選3番手を獲得した。

予選は、どのセッションも使用するタイヤが全て違った繊細なコンディションだった。前回のオートポリスラウンドの40分の計時アタックで獲得した3番グリッドは、赤旗で中断が多く、ピット位置にも左右される結果だったと話す阪口。しかし、今回は全車が平等にアタックし勝ち進んで獲得した3番グリッド。速さもさらに磨きがかかった。坪井は、残念さに本人も肩を落とす結果ではあったが、2台で予選上位を具体的にイメージできる好調さがあることで、チームのムードは悪くない。明日は、それぞれのポジションで最良のパフォーマンスを発揮できるようチームも全力で戦っていく。



## ドライバー #38 坪井 翔

「辛いですね。ミスが目立ち過ぎました。雨はいつも速くて調子良いので、今回の菅生は手応えを感じていました。フリー走行も2台で2番手、3番手と予選も速かったのに、このような結果になってしまい、速いクルマを作ってくれたチームに大変申し訳ないと思っています。ミスについてはいつも反省しているのですが、ショックで自分がかかりです。明日はドライだと思うのですが、下位からのスタートは抜くのも苦労しそうです。あまりドライの菅生で良いイメージがないですが、いろいろトライして、克服できると良いなと思っています。」

## ドライバー #39 阪口 晴南

「ウェットコンディションは、チーム的に雨量が多くても少なくてもペースが良く走ることができたので、良いクルマを作ってくれたチームに感謝したいです。どのセッションもそれぞれタイヤを換えるような難しい状況でしたが、Q2はトップタイムを出せました。Q3では自分が思っているグリップが得られないと感じそこは残念でした。ポールも狙える位置にいたと思うので3位は悔しいです。チームメイトの坪井選手がとても速かったので、2人で記者会見に行きたいとも思いましたが、そう簡単には行きませんね。決勝に向けては、良い位置からスタートできるのはとても良いと思います。明日は晴れてドライだと思うのですが、菅生のドライは経験がないので楽しみでも不安でもあります。しかし、この順位なので勝つチャンスはあると思うので頑張ります」



## 監督 立川 祐路

「2台とも朝からウェットでの調子が良くて、予選も順調に行っていました。Q2で坪井はスピンして、赤旗を出して終了してしまったことは、もったいなかったですね。残念でした。明日はドライの見込みなので、今日とは全く違う状況が予想されますが、なんとかうまく挽回できるようにしたいと思います。阪口は、最後まで調子の良さを維持して、3番手になることが出来ました。Q2ではトップタイムで勢いもありました。本人はもっと上を目指しポールを獲得したはずですが、常にこういう位置にいるのが大事なことで、そのうちトップを取ったり勝てるチャンスもあると思うので、まずはこれで充分です。明日は優勝を目指して頑張ります」

